

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

送信先: report@r-ict-advisor.jp

派遣決定番号 080K

報告日 令和5年7月21日

報告回次 1日目

令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	清水町	代表者名	阿部 一男		
担当者部署	総務課	連絡先電話番号	0156-62-2111		
担当者役職	係長	担当者氏名	岡田 裕二	連絡先E-mail	*****
住所	089-0192 北海道清水町南4条2丁目2番地				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	白井 芳明
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	当町のDXに係る状況や課題を聞いていただき、道内市町村の取り組みを交えながらアドバイスをいただきました。また研修会に向けて当町に適した内容の方向性を考えていただきました。
アドバイザーへの要望事項	

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	令和5年6月20日	事前打合せ(実地)	有	令和5年7月18日	777
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和5年6月19日	事前打合せ（実地）	15時00分	17時00分	
				活動時間（分）	120
3-2. 派遣場所	会場名	清水町役場	最寄駅	十勝清水駅	
	所在地	北海道上川郡清水町南4条2丁目2番地	最寄駅からの交通手段	徒歩	

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可 掲載可

<https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/>

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	職員	3人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	将来的に職員の数も減っていき、一人あたりの業務量が増えていくことが容易に想像される。職員全体でDX、デジタル化の重要性を認識し、行政サービスを低下させることなく自治体運営することを考えなければならない。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	職員一人一人がDX、デジタル化の重要性を認識し、DX推進の担い手であることを意識させる。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	研修会については教室方式（講義形式）で行うこととした。当初は2日間で予定していたが、1日で午前と午後に分け実施することを決定した。	

支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	なし	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	なし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 事前打ち合わせのためアンケートなし。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	③現段階では課題・問題が残っているため未定
事業の最終的な目指す姿	デジタル化についての取り組みの重要性を認識し、デジタル技術を取り入れた事業の検討、予算化、事業の実施を図る。	

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

|

|